



情味が混在した  
 浜脇界隈が  
 今ここに蘇る。



# 藤田洋二写真展

大分県立芸術文化短期大学 国際文化学科主催

2012年10月6日〔土〕於 別府中央公民館

「失われし家並を求めて」

モダンと昔ながらの

*Yozo Fujita*

無名な人々の息使い。

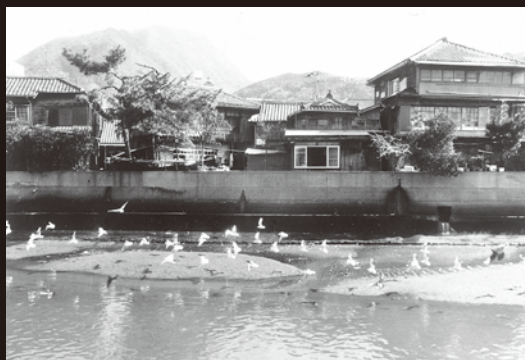
その世界は、あまりにも断続的なためなかなか全貌を現さない。

現実世界にあって人々の記憶に残っているが、

大した意味や価値を持たないと見過ごされたもの。

そうしたものを伝達することも“写真の力”だと思っている。

(藤田洋三『にっぽん礼賛』より)



### パネルディスカッション

【日程】10月6日(土)12:30 開場 / 13:00 開演

【会場】別府中央公民館F1「講座室」(別府市上田の湯町6番37号)

【アクセス】バス-JR別府駅西口⇒「公民館前」下車

\*当日、会場の駐車場は使えません。公共交通機関をご利用ください。

【パネラー】藤田洋三(写真家)・松田法子(京都府立大学大学院)

中野護(別府オダサク倶楽部)

【司会】二宮圭一(芸術家)

【ゲスト】小華さん(別府検番)

### <アクセスマップ>



【徒歩】JR別府駅から約10分

【バス】JR別府駅西口⇒「公民館前」下車

8 番浜脇・観海寺線

36 番湯布院線

37 番くじゅう高原線

主催：大分県立芸術文化短期大学 国際文化学科

藤田洋三 写真展～失われし家並を求めて～

2012年10月6日(土)於 別府中央公民館

【お問合わせ】大分県立芸術文化短期大学 大分市上野丘東1-11

TEL: 097-545-4521 (担当・永田)



© 宮地 泰彦

藤田 洋三

Yozo Fujita

1950年別府市生まれ。写真家。ライフワークとして全国の土壁、石灰窯、墓塚の撮影と取材を続けている。著書に『世間遺産放浪記』(2007)『世間遺産放浪記 俗世間篇』(2011・ともに石風社)がある。